

### 1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2172100881		
法人名	医療法人静風会		
事業所名	グループホームHIPPO		
所在地	岐阜県大垣市室村町1丁目178番地		
自己評価作成日	平成22年6月15日	評価結果市町村受理日	平成22年8月19日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://kouhyou.winc.or.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=2172100881&amp;SCD=320">http://kouhyou.winc.or.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=2172100881&amp;SCD=320</a>
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 旅人とたいようの会		
所在地	岐阜県大垣市伝馬町110番地		
訪問調査日	平成22年7月13日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

母体が医療法人の為 医療との連携強い。入居者様も1年6ヶ月以上 変動無く 皆元気に過ごされている。職員も 半数以上が勤続3年以上であり 馴染みの関係が築けている。地域との繋がりもありご家族にも安心して頂いている

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

管理者と職員は、利用者の心身の状況を把握しながら、医師や家族と連携し、利用者の元気で穏やかな暮らしの支援を行っている。運営推進会議に利用者全員が出席して意見を述べたり、外出希望や病院受診等、利用者の思いに添う支援を心掛けている。回覧や地域行事への参加等で、地域からの見守りや災害時の協力体制が出来ている地域密着の事業所である。

項目		取り組みの成果 該当するものに 印	項目		取り組みの成果 該当するものに 印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働いている (参考項目:11,12)	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない			

自己評価および外部評価結果

(セル内の改行は、(Alt+)- + (Enter+)-です。)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>理念に基づく運営</b>					
1	(1)	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	開所当時(H16年)から現在まで地域とのふれあい深い。特にHIPPO理念に地域密着型と記されていないが馴染みの地域、人々の中で実践できている	ホーム内に理念を掲示している。管理者・職員は「馴染みの中で、安心してゆったり暮らす」事を目指した支援のあり方を話し合い、共有しながら実践に繋げている。	
2	(2)	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域行事参加、回覧板活用、運営推進会議、防災、避難訓練等で交流している	事業所の状況は、自治会の回覧で地域へ周知がされている。散歩時の挨拶や夏祭りの参加等で顔見知りとなった地域の方々のさりげない見守りや避難訓練時の協力がある。又地域住民からの介護相談等受けている。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	、地域住民よりの相談にのっている		
4	(3)	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	毎回、利用者全員参加の元 運営推進会議を開いている。有意義な直接対話、交流が出来、サービス向上に活かしている	家族の参加しやすい時間を選び、利用者全員出席の運営推進会議を開催している。出席者が意見を言い易い様、雰囲気工夫し、利用者も意見を述べている。利用者との直接対話や交流が出席者の事業所理解に繋がっている。	
5	(4)	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議に毎回 市役所高齢介護課職員が参加。また 権利擁護の利用者二名居られ綿密に協力関係を取っている	利用者の状況は毎月連絡を取り、市と共有している。社会福祉協議会とは権利擁護で訪問や打ち合わせを行い、連携を取って利用者の支援をしている。市から依頼の認知症出前講座を開催予定である。	
6	(5)	身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	施設が二階である為 転落防止、安全確保の為 やむなく施錠させて頂いているが 職員一同申し訳無いと思っている	事業所が2階にあり、緩やかな螺旋階段は、幅が狭く手すり取り付け不能である。安全を考慮し施錠しているが、管理者と職員はその弊害を理解し、喫茶や買い物・食事会等外出の機会を多くし、事業所内では常に利用者の行動を意識して見守っている。	
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている	管理者の外部研修(権利擁護)、法人での職員研修、HIPPO内研修にて学習し 防止に努めている		

グループホーム HIPPO

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	現在、利用者の中で利用されている方が居られ、学び 支援している		
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	十分な説明をし 理解して頂いている		
10	(6)	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	入居者には毎夜のお茶会等にゆったり話を伺い、運営推進会議でも家族同様意見が出る様図っている。家族にも面会時等を活用し意見、要望が頂ける様図っている	利用者とは、毎夜のお茶会の歓談を通じ、又家族にはアンケートを実施して、意見・要望の言い易い環境作りに取り組んでいる。又面会時にも、気軽に要望や相談が出来るように声掛けを行っている。	
11	(7)	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	管理者は日常的に職員に意見交換し、提案を求めている。必要時、代表代理通じ法人へ提案、反映させている	管理者は、利用者のお昼寝タイムに職員とのミーティングを行ない、気づきや意見を職員間で話し合っている。、事業所からの意見や提案は、法人内代表者会議で協議され、内容は職員に周知が図られている。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	代表者は精一杯努めていると思う(職員も勤続三年以上7割おり 無遅刻、無欠勤者多い)		
13		職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内研修、定期的な有り、外部研修も積極的に進めている		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	管理者、サービス計画者の勉強、交流は多くなった。職員の法人内での交流もある、今後他のグループホーム訪問予定有り		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	アセスメントを充分に取り 安心を確保される様、信頼関係が築ける様 努めている		
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	導入時のみならず、家族への報告、相談まめに行い信頼関係が出来る様努めている		
17		初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	病院受診時、歯科受診時、美容院等、本人、家族と適時相談、対応に努めている		
18		本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員は、以前からの縁があったような馴染みの関係の中で共同生活を送る関係を築いている		
19		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	本人、家族の絆を大切にしながら ともに援助できる様 図っている		
20	(8)	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	入居前の近所の方、学校時代の友人等訪問有り又、以前入院していた病院、施設との交流も有り支援に努めている	毎週、自宅へ帰ったり、読書好きな方の図書館への送迎や絵の好きな利用者と美術館に出掛ける支援をしている。利用者の病院受診や行きつけの美容院に出掛ける事は、昔からの知り合いに会う馴染みの場所として、関係継続の支援を行っている。	
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者が共に支え合い、共同生活が送れる様、支援に努めている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去後も必要時 本人、家族の相談支援に努めている		
<b>その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人の意思把握に努め 個人を尊重したケアを図っている	日中は職員と利用者が居間で過ごす事が多く、食事や毎夜のお茶会でも、表情の変化や思いを見逃さないようにしている。利用者の個性や能力を事業所での役割に活かし、一人ひとりに感謝状を贈っている。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	一人々の馴染みの暮らし方、環境等把握し 安心して生活して頂ける様 努めている		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとりの現状、思い等把握し本人に満足していただける様努めている		
26	(10)	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人、家族、主治医、ケアマネ、CW等の意見やアイデアを取り入れ 現状に即した計画を作成している	モニタリングは毎月行い、3ヶ月～6ヶ月で介護計画の見直しをしている。職員・医師・社協職員等の意見を聞き、計画作成者は月2回の夜間勤務を行ない、利用者の状況を把握して計画を作成している。	
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	カルテにこまめに記入、情報交換に努め計画実践、見直しに活かしている		
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人、家族のその時々ニーズの他、思いがけない本人、家族の病気等にも柔軟な支援をしている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域との連携強く、非常時、災害時等の話し合いも十分に出来ており 安心して頂いている		
30	(11)	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	母体が医療法人で有り、信頼関係の強い主治医の元、何時でも適切な医療を受けられる為 本人家族も安心されている	主治医とは、24時間連携が確保され、緊急時にも適切な処方の指示がある。受診以外でも常に連絡を取り合い、紹介を受けて他の専門医療機関の受診支援を行い、受診結果は主治医や家族と共有している。	
31		看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	大垣病院ナースステーションより 毎週定期的な訪問看護師来所、医療との連携強い		
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	日常的に医療との連携強く 出来ている		
33	(12)	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	母体が医療法人で有り 事業所と法人の連携深く本人、家族、地域の関係者と充分話し支援している	利用者や家族の思いを受け止め、母体医療法人や社会福祉協議会の職員等関係者と話し合い、家族や利用者と思いを確認しながら支援を続けている。母体が医療機関で、家族から信頼と安心を得ている。	
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変、事故発生時のに備え全員 実践力を身につけている		
35	(13)	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	全職員、入居者の避難誘導が出来る様身につけている。運営推進会議等利用し、地域の方と 毎回確認、協力体制が出来ている	夜間避難訓練も行い、地域との協力体制が出来ている。事業所建物の1階は託児所、3階は母体の職員寮で協力人員が確保され、又階段入り口には避難用シーツを常備して利用者の安全な避難に備えている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	毎年開催される法人主催の接遇研修、外部研修参加等の他、職員同士でもお互い注意し合うなど対応に努めている	肌の弱い利用者の為の手作り布パットや気兼ねなく洗濯物を出せる場所の設置・利用者同志の相性を考えたテーブルの位置決め等個々の自尊心を大切に、傷つかぬようさりげなく支援している。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	アセスメント、ケアプラン作成時、モニタリング時の他日常的に、夜のお茶会を利用し思い、希望、自己決定出来る様図っている		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人一人のペース、思いでゆったり生活される様支援している		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	おしゃれな入居者多く その人らしく 支援出来ている		
40	(15)	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	男性入居者も嚙下体操の号令の役割をされる等職員、入居者全員で楽しく取り組んでいる	利用者と共に相談しながら献立を立て、調理をしている。利用者のエプロン姿や食事の挨拶の声等で、役割を担う喜びが見受けられ、職員と一緒に楽しい食事である。食器や補助具を工夫して、経口摂取の食事支援に取り組んでいる。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事摂取量、補水量、バイタル、体重変化等チェックし 適時主治医へ報告している		
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	出来ている		

グループホーム HIPPO

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	日中、重介護度の方もポータブルトイレ使用等 一人一人、排泄の自立に向けた支援を行っている	日中は、布パンツを使用し、声掛けやポータブルの使用で、排泄の自立に向けた支援をしている。夜間は9時までのお茶会后、トイレを済ませての就寝を日課としている。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	ここに応じた支援をしている		
45	(17)	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	日曜以外の毎日、入浴日を設け 午前中に実施。高齢者である事を配慮し 医療や人員の充分揃ったゆったりとした時間に実施。一人3回/週 体調等により変更有り	看護師による皮膚や身体状況の把握が入浴時に行なわれている。余裕を持った職員配置で利用者の唄や話に付き合いながら、週3回以上の入浴支援をしている。	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	安心して気持ち良く休める様支援している		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬支援並びに 症状の変化確認に努めている		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	地域内散歩の他、HIPPO車利用しドライブ、図書館、食事、買い物等外出多い。室内ではレク、ラジオ体操、作品作り等楽しみ事多い		
49	(18)	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	地域内散歩や御家族との外出、一人一人のその日の希望に沿って 外出多く出来る様、支援している	買い物や喫茶、季節の名所めぐりや食事会等、利用者の希望に添って出掛けている。週末に自宅へ戻ったり、家族と外出する利用者もある。又1階の託児所に出掛け、子供達とふれあう時間は利用者にとって楽しい時間になっている。	

グループホーム HIPPO

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>買い物、外食時等 本人の希望や力に応じ、自己にて支払い出来る様図り支援している</p>		
51		<p>電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>携帯電話所持されている方も居られ 手紙のやり取りされる方も居られる。 出来ている</p>		
52	(19)	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>職員同士話し合い、居心地良く過ごせる様日頃 配慮、工夫している</p>	<p>玄関先に花を置き、廊下には利用者の作品や掲示物がある。居間に大きく書いた歌詞を貼り、いつでも唄が歌えるようになっている。職員の布の手作りカレンダーや、冷蔵庫のマグネット止めのメモ・手作りのプチカーテンや日よけすだれ等、家庭的な雰囲気作りがされている。</p>	
53		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>食堂の隅に置かれた三人かけソファー 入居者同士話したり音楽を聴かれたりする憩いの場となっている</p>		
54	(20)	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>遺影、五輪、家族写真、豪華ソファー、たんす等本人の思いを大切にし乍ら 過ごせる様支援している</p>	<p>入り口に好みの暖簾や手作りのネームプレートを架けている。持ち込みの家具やテレビ・ラジオ・家族写真を置き、職員手作りの可愛い整理箱は靴箱や本棚として使用され、室内は整頓されている。</p>	
55		<p>一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>廊下手すり、エレベータ 等無いが その分職員がかけつけ見守り補っている(今日まで1年半以上転倒事故無し)</p>		